

第5回西播磨新地域ビジョン検討委員会 会議録（要旨）

1 日時

令和3年10月4日（月） 15:00～16:00

2 場所

対面（西播磨総合庁舎 大会議室）及びオンライン

3 出席者

委員：谷口委員長、田端副委員長、井関委員、太田委員、長谷川委員、
三宅委員、久保委員、門田委員、大西委員（代）、家氏委員、玉木委員
西嶋委員、熊谷委員、宮下委員、江見委員

県民局：渡瀬局長、久野室長、神尾、大西

4 内容

西播磨新地域ビジョン案について、資料1により事務局から説明し意見交換を実施（主な発言内容は以下のとおり）

（委員）

デザイン的にはよくなったと思う。ピクトグラムについて、このビジョンを県民参加で作ったということアピールするためにも、ピクトグラムを作成した生徒の写真を掲載し、高校と協力して作ったことをもう少し強く出してもいいのではないかと。若い世代に頑張ってもらいたいというメッセージにもなると思う。

（事務局）

龍野北高校と相談の上、可能であれば掲載する方向で調整させていただく。

（委員）

例えば、目次の下の余白部分に生徒の写真を入れてもいいと思うので、事務局内で検討してみてください。

ピクトグラムは差別的なものや誤解を招くようなものがないか、委員で点検したいと思う。

（委員）

この原案とは別に、どのようなバージョンを想定しているか。

（事務局）

要約版を作成したいと考えている。

（委員）

来年度の活用の話になるが、HPに冊子の電子データを添付するとは思うが、それとは別に16の取組目標を掲載し、目標毎に関連する企業やNPOのリンクを貼り付けると、一緒に取組んでいく団体間の繋がりが出てくると思う。お互いの団体を知るきっかけにもなるし、ビジョンを推進するパートナーを見える化することができると思う。

（委員）

事務局の方で検討してみてください。

（委員）

全体のイメージとして、西播磨の課題を特に自然環境を活かして解決していくというのが出ており、よくまとまっていると感じた。

修正してほしいということではないが、取組目標12の播磨科学公園都市について、科学研究分野も含めて、もう少し国際的な部分、グローバル的な部分

が出てきてもいいのかなという印象を持ちました。

(委員)

非常にうまくまとまっており、地域の人が見ても希望が持てる明るいものになったと思う。

将来像1～4のすばらしいカテゴリーについて、16の取組目標がバラバラにあるのではなく、4つにしっかり色分けしているというアピールも兼ねて、表紙の中に将来像を明記してもいいのかなと感じた。

これは欲張った意見で申し訳ないが、16の各取組目標が4つの将来像とは別の軸で結びつくと思う。例えば、森林資源を活かすためには、人材育成とか防災など別の軸でも繋がるものが多いと感じている。16の取組目標がどういった繋がりを持っているのか、また、それが達成された時にどんな生活や社会があるのかが分かるポンチ絵みたいなものがあれば、それぞれの目標がより生きてくるのかなという感じがしました。

(委員)

かなり難しい宿題ですが、取組目標毎の主や副での繋がりを図示し、かつ分かりやすくという作業をお願いできますか。

(事務局)

取組目標の軸同士の結びつき、それが達成された時にどんな形になるのか検討させていただく。満足なものが出るかどうかわからないが、一度トライはさせていただきます。

(委員)

1点目は、グラフの作り方がバラバラなので再度確認してください。

2点目は、1頁の1番について、日本語として理解できなかったのもので、この4行を見直してほしい。

3点目は、内容に不満はないが、結局これで西播磨の暮らしなどがどうなっていくのかが分からない。昨年、姫路市の都市計画委員として、家族が将来どうなっていくのか、シナリオというかストーリーを書いた。このままでも文句はないが、最後の一枚でも概要版でも動画でも何でもいいが、一人ひとりにとってどういう意味を持つのか、県民への見せ方というものを考えていただければと思います。

(委員)

16～17頁が一つの切り口になると思うが、将来像の1～4は今のところ関連性は読み取れないが、全部推進していった場合にどうなるのかというところで、16頁の基本姿勢を具体化というか視覚化して、こういう暮らしがあるとか、環境がこうなっているとか、県民の方に持っていただくイメージであるとか。その下にそれぞれの関連性がどこかで最終地点という形で一枚でまとまっていけるのかどうか、一度検討していただけますか。

(委員)

委員になるまで西播磨のビジョンを知らなかった。案を見た時に、私はわかりやすいと思ったが、自分事として捉えにくい人もいるのかなと感じた。

そこで、できるのかはわからないが、例えば小中学生だったら特にこの取組目標が関係して考えやすいよとか、子育て中の世代、結婚前の世代だったらここが関係するよというように、年代別に関係する取組例を提示すると、より自分事に捉えやすいのではないかと。そうすればこういうビジョンがあるんだと資料を広げるきっかけになると思う。

(委員)

冊子に掲載する写真には限りがあるので、例えば Web 版に様々な取組例を紹介できればいい。そのためには、市町からの情報提供が大事になる。この取組ならできそうだと思うてもらえるきっかけづくりになるような見せ方を検討いただければと思う。

(事務局)

Web 版等で見えていただく工夫も大切だと思った。

(委員)

各市町にも順番にご意見を聞いてもよろしいでしょうか。

(委員)

概ね見やすく、内容的にも西播磨全体のことが入っていてよいと思う。

(委員)

Web の話も出たが、それも必要なことだと感じていた。

細かい話だが、本文に丸ゴシックが使われていると思うが、今は UD フォントが流行りで目にも優しいと思う。

今更ながら、5 ページの 6 番「地域のコミュニティ機能の低下」の 4 つ目の文中に、「子どもが地域と関わる」とあるが、文脈からすると「地域が子どもと関わる」ではないか。

(事務局)

ご指摘のとおり子どもが地域と関わるというより、地域が子どもに対してアプローチしていくという表現の方がよいと思われるので、修正させていただきたいと思います。

(委員)

逆に、「子どもの地域と関わる」ではどうでしょうか。子どもが地域と関わる機会なので、「子どもの地域と関わる機会が減少し」という表現でもいいかもしれない。お任せする。

(委員)

特になし

(委員)

よくまとまっていると思う。特に取組目標については、自分事として捉えられるキーワードができ、県民・市民によくわかるものができたと思う。

宍粟市の悩みでもあるが、ビジョンの実現に向けて市民が取組をする中で、県と市の取組目標の言葉のニュアンスが少し違うため、ある取組によって県と市の目標がどのように達成されていくのかがわかりにくいところがある。現在、宍粟市の総合計画の策定を進めているが、一つの取組によってどのように達成されていくのか、市でも見せ方を工夫したいと思う。

カラフルな色使いが、色覚異常の方へのユニバーサルデザインの確認は、どこかの時点で必要かと思う。白抜き文字が多いが見えないこともある。

一点確認だが、県の実行計画が地域創生戦略だと県のビジョンの中で確認したが、県のビジョンに対する人口目標は定められるのか、定めないのか。今回の資料では人口推計のみだが、その点を確認させていただければと思う。

(事務局)

人口目標について、本庁からは今のところ連絡はない状態。情報があればお知らせする。

(委員)

県のビジョンと市町の総合計画や分野別の計画に整合性がないと困ると思うので、今後、市町の総合計画の見直しの際には県のビジョンも一つの参考として進めていただければと思う。

障害のある方への配慮としては本庁障害福祉課に聞いていただきたい。読み上げ、点字、色覚面での見せ方などの情報を得られると思う。誰も取り残さないという意味では、読めない人がいたというのは重要な指摘になりかねない。

(委員)

特になし。太子町の総合計画と照らし合わせて見たが、町の考え方と一致する部分がたくさんあった。わからない部分もあったが、各市町の方も学識経験者の方も入っていただいているので、大丈夫かなと思う。

(委員)

各市町の取り組み例と写真について、提供フォーマットは指示してもらえるのか。文章も入ると思うがそこも含めて示してくれるのか。

(事務局)

メールでご連絡する。文章を含め、こういう写真がいただきたいと明記した上でお願いさせていただく。

(委員)

当初から多くの県民の意見をまとめていただいている。総合計画と比べて見やすく、県民が親しみやすいものになっていると感じる。1ページの「ビジョンとは」について、指摘があったが、ビジョンとは行政主導型の計画ではなく、県民誰ものビジョンであるというニュアンスを県民局としては言いたかったのかなと思う。

(委員)

ビジョンの進捗状況の確認や見直しは行うのか。

(事務局)

恐らく、一定の年数を経たら、定期的な改訂や見直しも今後想定されるが、今は具体的には決まっていない状況である。

(委員)

計画であれば、中間見直しや進捗管理はどうするか書き込んでいると思うが、ビジョンは必須ではないということですね。他の地域ビジョンとの兼ね合いもあると思うので、書き込む場合は内部で話し合っただけであればと思う。

(委員)

来年度以降、ビジョンの実施主体は様々だと思うが、西播磨県民局としてはどう取り組むのか。ビジョン委員会をまた組織していくのか。また、ビジョンをどのように活用していくか、西播磨県民局としての取組内容を教えていただけますか。

(事務局)

ビジョン委員会の話が出たが、まだ具体的には決まっていない。

県民局ごとに実施する事業だが、毎年度その時々为社会情勢を踏まえて定めている。ビジョンは少し抽象的になっているところはあるが、将来的にこういうまちになってほしいという県民の思いが集約されていると思う。基本的には、ビジョンに沿った事業推進の形は今後も変わらないと思う。

(委員)

進捗管理・評価をし、その結果を県民に示す機会は、可能な限り定期的にや

っていくのがいいのではないか。検討いただければと思う。お気づきの点があれば、事務局までお寄せいただければと思う。ピクトグラムの点検も、事務局から委員の皆様にお問い合わせがあるかと思うが、よろしくお願ひします。

(委員)

進捗をどうするのか、市町総合計画との関わりなど、計画策定後、どう進めていくかの議論が出てきたので、非常によかったと思いました。今日出た議論、貴重な意見は、全てのまちづくりの計画にとって非常に重要であったと感じました。